

平成24年度 男女共同参画宣言都市奨励事業

山陽小野田市 男女共同参画宣言都市記念式典 報告書




あなたが
いる

わたしが
いる

未来が
ある

平成24年9月29日(土)

山陽小野田市文化会館
大ホール (JR厚狭駅新幹線口前)

主催：内閣府 山陽小野田市 

はじめに

山陽小野田市男女共同参画宣言都市の趣旨

女性と男性が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題です。

そのためには、国における取組に加えて、国民の生活に身近な地域社会から男女共同参画を進める必要があります。

山陽小野田市は、男女共同参画社会の実現を目指して、市や市民、事業者が協働して男女共同参画の推進に取り組むための理念やしくみを定めた「山陽小野田市男女共同参画推進条例」を平成17年3月22日に施行するなど、さまざまな施策の推進を図っています。

本事業は、山陽小野田市が男女共同参画宣言都市となり、市、市民、事業者が一体となった男女共同参画社会づくりに取り組む気運を醸成するとともに、本市の積極的な取組の姿勢を市の内外に発信することを目的とします。



山陽小野田市男女共同参画都市宣言

山陽小野田市は、歴史ある 自然豊かな 先人の偉業を受け継ぐまちです。

わたしたちは、このまちを誇りとし、^{ひと}女と^{ひと}男、誰もが自分らしく生きがいを持って輝けるまちをめざし、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

- 一、めざします。^{ひと}女と^{ひと}男、互いに認め、互いの良さを引き出して、あらゆる分野に対等に参画するまちへ
- 一、めざします。^{ひと}女と^{ひと}男、喜びと責任を分かち合い、支え合い、協働するまちへ
- 一、めざします。^{ひと}女と^{ひと}男、互いに自分らしく輝ける、未来につながるまちへ

平成24年9月29日 山陽小野田市



主催者あいさつ

——— 内閣府男女共同参画局調査課分析官 高村 静

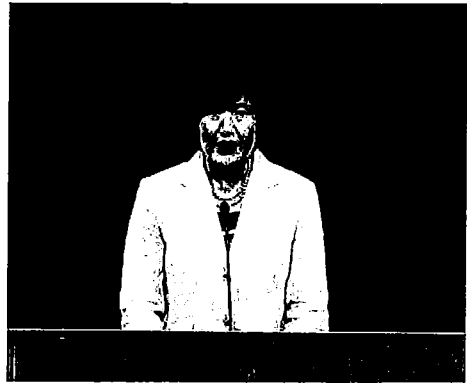
今日は、山陽小野田市と内閣府の共催事業である平成24年度男女共同参画宣言都市記念式典にお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。厚くお礼申し上げますとともに、皆様方の日ごろからの男女共同参画社会の実現に向けた御尽力に、改めて敬意を表します。

男女共同参画社会は、女性にとっても男性にとっても生きやすく、そして誰もが意欲と能力とに応じて希望を持って活躍できる、生き生きと暮らせる社会です。こうした社会の実現のためには、それぞれの地域の特色を生かしながら、行政、企業、地域団体、そして住民お一人お一人が一体となつての活動が必要です。

国におきましては、第3次男女共同参画基本計画に掲げられた事項を着実に実行するとともに、地域における男女共同参画推進の核となる自治体、男女共同参画センター、NPOなどの各種団体が連携を深められ、社会全体に取り組みの輪が広がるよう応援してまいりたいと思っております。

本日の記念式典を通じまして、幅広い視点から議論と、そして交流とが深められ、その成果をお一人お一人の男女共同参画社会づくりの活動に生かしていただきますよう、心より御期待申し上げます。

最後に、本日の開催に当たりまして多大なる御尽力をいただきました山陽小野田市並びに御関係者の皆様から感謝申し上げますとともに、お集まりの皆様の一層の御活躍、御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



——— 山陽小野田市長 白井 博文

皆さん、こんにちは。前は来賓席です。10月1日から赤い羽根募金運動が始まります。啓発用につけております。よろしく申し上げます。

このたび、これまでの山陽小野田市の事業の実績が評価されまして、内閣府と共催で男女共同参画宣言都市記念式典を開催することができる運びとなりました。

平成10年6月に全国で7番目の宣言都市として名乗りを上げた宇部市に次いで、県下では2番目の男女共同参画宣言都市となります。

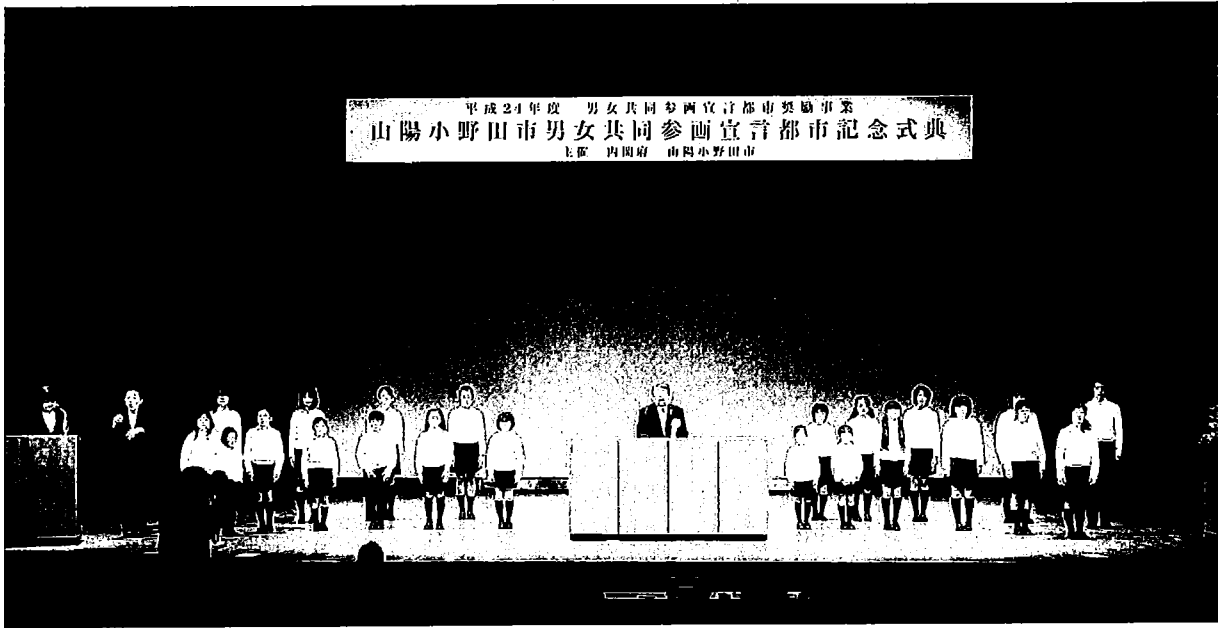
男性も女性も、持てる個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の最重要課題の1つとして位置づけられ、国もさまざまな方策の投げかけを行っております。その1つに男女共同参画宣言都市奨励事業がありまして、より効果的に男女共同参画社会づくりの啓発を行うため、毎年、国が全国から5つないし6つの市を選定していますが、今年は山陽小野田市もその中に選んでいただきました。

男女共同参画社会の実現は、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会づくりであります。山陽小野田市は、このような社会の実現に向けて着実に前進するため、市民、事業者、その他団体の皆様方とともに、精いっぱい努力する決意しておりますので、皆さんの変わらぬ御協力をぜひお願いいたします。

以上です。どうぞよろしく申し上げます。



市長声明と宣言文唱和



続きまして、いよいよ男女共同参画都市宣言を行います。舞台準備のため、しばらくお待ちくださいませ。

司会（井上京子）

それでは、ただいまから市長声明と会場参加者によります宣言文唱和をいたします。

皆様、お配りしておりますプログラムを開いていただきまして、左ページ、四角の枠の中の都市宣言文をごらんください。

今から、市長が声明文を読み上げます。その後、私が皆さんにこのように合図を送ります。合図を送りましたら、宣言文の表題「山陽小野田市男女共同参画都市宣言」からずっと最後の「平成24年9月29日、山陽小野田市」まで、会場全体で大きな声で高らかに読み上げてください。よろしいでしょうか。御唱和お願いします。そして、唱和の後は、祝賀の意味を込めまして、拍手をお願いします。皆さん、よろしいでしょうか。

それでは、まず市長が声明文を読み上げます。市長、どうぞ。

山陽小野田市長（白井博文）

まず、導入部として、市長声明を申し上げます。

山陽小野田市は、平成17年3月、山陽町と小野田市の合併により誕生しました。山陽小野田市と、こうなりました。合併と同時に、男女共同参画推進条例を施行しました。男女共同参画プランをその2年後の平成19年6月に策定しました。これによりまして、その後の5年間、さまざまな施策を積極的に展開してきました。

しかし、男女差別の根源である固定的な性別役割分担が根強く残る家庭や地域、そして職場の慣習を変えていくのは並大抵なことではありません。

バブルの崩壊後、私たちはさまざまな社会問題、少子高齢化、児童虐待、自殺、DV、景気の低迷などの諸問題を抱えております。その解決に向けて、未来を担う若者や子供たちへ少しでもよりよい社会をつくりつなげていくことは、少し前に生まれた私たちの責務であるのではないかと考えております。

その解決策の1つとして、男女共同参画社会づくりへの取り組みがあります。本市が男女共同参画の推進・啓発事業として、男女共同参画社会基本法が制定された平成11年から「女（ひと）と男（ひと）の一行詩」を14年間継続していることや、平成22年度に全国に先駆けて「女性の日」を創設し、男女共同参画推進に尽力していることを内閣府から認めていただき、このたび内閣府との共催事業が実現するに至りました。内閣府の温かい御支援と関係各位の深い御理解と多大な御協力に対し、深く感謝を申し上げます。

本日ここに、市を挙げて男女共同参画社会づくりに取り組む姿勢を市の内外にアピールし、市の総合計画と男

女共同参画プランに基づく施策を総合的かつ計画的に推進していくとともに、男女共同参画宣言都市として、市民、事業者、各種団体の皆様とのなお一層の連携と協働の強化に取り組んでいく決意を改めて表明するものであります。

市長声明は以上です。

司会（井上京子）

続いて、いよいよ宣言文の唱和です。恐れ入ります、皆様、御起立くださいませ。よろしいでしょうか。それでは、皆さん、大きな声で、どうぞ。

〔宣言文唱和〕

山陽小野田市男女共同参画都市宣言

山陽小野田市は、歴史ある 自然豊かな 先人の偉業を受け継ぐまちです。

わたしたちは、このまちを誇りとし、女（ひと）と男（ひと）、誰もが自分らしく生きがいを持って輝けるまちをめざし、ここに男女共同参画都市を宣言します。

一、めざします。女（ひと）と男（ひと）、互いに認め、互いのよさを引き出して、あらゆる分野に対等に参画するまちへ

一、めざします。女（ひと）と男（ひと）、喜びと責任を分かち合い、支え合い、協働するまちへ

一、めざします。女（ひと）と男（ひと）、互いに自分らしく輝ける、未来につながるまちへ

平成24年9月29日 山陽小野田市

〔拍手〕

司会（井上京子）

ありがとうございました。これで、山陽小野田市は男女共同参画宣言都市の仲間入りをいたしました。どうぞ御着席くださいませ。ありがとうございました。

山陽小野田市は、今後とも男女共同参画社会の実現に向けて、市民の皆さんとともに歩んでまいりますので、皆さんの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



平成24年度 男女共同参画宣言都市奨励事業

山陽小野田市 男女共同参画宣言都市記念式典

あなたが
わたしが
未来が
ある



平成24年 **9月29日(土)** 入場無料

13:00 ~ 16:00 (12:20 開場)
山陽小野田市文化会館大ホール
(JR 厚狭駅新幹線口前)
託児あり(要予約 9/17(祝)まで)
手話通訳、要約筆記あり

〔記念式典〕
市長声明と、会場参加者
による宣言文唱和 ほか

〔記念行事〕
**「第14回 女と男の一行詩
入賞作品発表・鑑賞会」**

講師/岸 かおる
(インティゴ・ブルー代表)



「知っちゃる?」
やまぐち男女共同参画
推進事業者って!
~やまぐち男女共同参画推進事業者の
職場における取組みについて~
パネリスト/市内認証事業者等
コーディネーター/白井 博文(山陽小野田市長)

主催: 内閣府 山陽小野田市 後援: 山口県

14:10 記念行事
「第14回 女と男の一行詩
入賞作品発表・鑑賞会」
講師/岸 かおる (インティゴ・ブルー代表)

15:20 パネルディスカッション
「知っちゃる?」
やまぐち男女共同参画
推進事業者って!
~やまぐち男女共同参画推進事業者の
職場における取組みについて~
パネリスト/市内認証事業者等
コーディネーター/白井 博文
(山陽小野田市長)

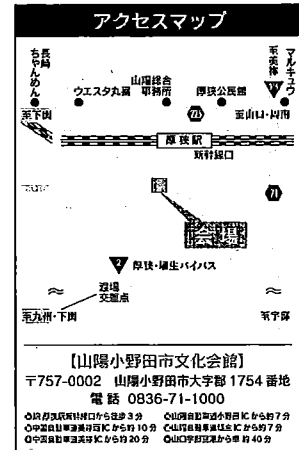
16:00 閉会

展示コーナー(小ホール)

- 「女性の日」事業写真パネル展
- 「女と男の一行詩」応募作品展 ほか



山陽小野田市男女共同参画
宣言都市 チラシ



■問い合わせ先
山陽小野田市 市民生活部
人権・男女共同参画室
〒756-0817 山陽小野田市日出一丁目1番1号
電話 0836-82-1137
FAX 0836-83-2604
E-mail: jinken-danjo@city.sanyo-onoda.lg.jp
◎お問い合わせによる個人情報、当事業以外には
使用しません。

また、未就学児のお子さんの託児を希望される方
は、9月17日(祝)までにお申し込み下さい。

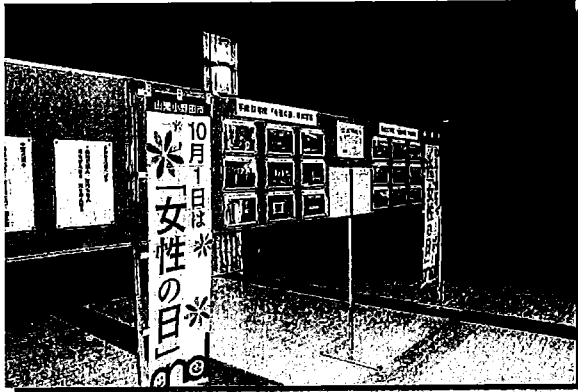


女と男(人と人)、異なる性とそれぞれの思い、
これらをつなぐと「and」という言葉。たった一文字だけど、
そこからどんどんつながって、広がっていく力を感ずきます。
英語にすれば「and」。この and に発想を託して、男女共同参画社
会づくりをめざす山陽小野田市のシンボルマークにしました。

資料編

山陽小野田市男女共同参画宣言都市記念式典 関連事業

○「女性の日」事業写真パネル展



○男女共同参画 図書コーナー



○「女と男の一行詩」^{ひと}_{ひと}応募作品展



記念式典会場

